

女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等のあり方取りまとめ概要案 (1/2)

少子高齢化が進み、人口減少社会を迎える中、社会活力を維持するため、最大の潜在力である「女性の力」の発揮が不可欠。また、女性が外出しやすい環境の整備は、女性の積極的な社会参加を促進するとともに、すべての人にとって暮らしやすい社会づくりにつながる。以下のとおり、国交省関連分野の公共空間におけるトイレ、授乳・調乳スペース、おむつ替えスペースの活用・整備について参考となるよう望ましい姿を示す。

1. トイレ

(1) 女性トイレの行列解消

現状

- ・洋式便房への利用集中や化粧直し・着替え等個室便房の目的外利用などによる混雑
- ※特に交通施設や大規模商業施設において行列への不満が多い。

望ましい姿

- 施設の新設・改修時、洋式便器を基本に十分な数を確保(男女別バランスや設置箇所の適切性も検討)
- 目的外利用防止に資する設備の新設
- 近傍トイレへの誘導

(2) トイレの清潔性・快適性の向上

現状

- ・トイレ混雑の常態化に伴う清掃不足の顕在化
- ・トイレ機能の高度化に伴う操作方法の複雑化などによる清潔性維持の困難
- ※特に交通施設や公園等の公衆トイレにおいて清掃不足や清潔感がないことへの不満が多い。

望ましい姿

- 清潔性維持に十分な定期的な清掃の実施
- 施設の新設・改修時、汚れにくい素材等を採用
- イラストや多言語表記等活用した操作方法等の表示
- 快適性向上に資する設備(温水洗浄便座等)や備品(除菌クリーナー、汚物入れ等)の設置
- 目的外利用防止に資する設備の新設

(3) トイレの安全・安心の確保

現状

- ・屋外のトイレについて、防犯設備等が不十分なことが多く、安心して利用できないため利用が減少
- ※特に公園等の公衆トイレにおいて安心して利用できないことへの不満が多い。

望ましい姿

- トイレ内及び周辺の明るさの確保
- 施設設置管理者等による定期的な巡回
- 新設・改修時、設計段階から設置場所・配置等を工夫
- 防犯に有効な設備(監視カメラ、防犯ブザー等)の設置
- 荷物置き場の設置(共有空間の場合は鍵付き)

(4) トイレの情報発信

現状

- 利用者が必要としている情報(トイレの場所、高機能トイレの利用方法、近傍トイレの有無・場所等)の提供が不十分

望ましい姿

- トイレの位置、設備・備品情報の提供
- IT環境を有効活用した情報の発信(電子掲示板等に情報掲示)
- 地域や周辺施設と連携したトイレマップの作成
- 既存アプリへの施設管理者による積極的な情報登録

(5) トイレの利用マナーの啓発

現状

- トイレの操作方法がわからない、訪日外国人が正しくトイレを利用できないなどに対する啓発の必要性。

望ましい姿

- トイレ利用者に対して他の利用者へも配慮する(清潔な利用、目的外使用を控える)よう呼びかけ
- イラストの活用などによる誰でもわかりやすい操作・利用方法などの表示

女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等のあり方取りまとめ概要案 (2/2)

2. 授乳・調乳スペース

(1) 授乳・調乳スペースの設置

現状

- ・授乳・調乳スペース不足
- ・ベビーカーなどの置き場所不足
- ・男性利用が可能なスペースの配色などの配慮不足

(2) プライバシーに配慮した授乳スペースの整備

現状

- ・母乳を与えている最中の男性の誤入室への心配
- ・スペース内部が外部から見える構造、施設内の人目につかない場所への授乳室の設置
- ・男性の育児参加への対応や個室、共同など様々な態様の授乳スペースの整備ニーズ

(3) 授乳・調乳スペースの情報発信

現状

- ・授乳・調乳スペースがどこにあるのかわからない。
- ・位置・設備情報、男性利用の可否等についての表示が不十分。

望ましい姿

- 施設の新設や改修時に授乳・調乳スペース設置を検討
- 衛生面への配慮からおむつ替えスペースとの位置関係を工夫
- 授乳・調乳に必要な設備(椅子、給湯器、洗面台)を設置
- 男性利用が可能なスペースへの色使い等の配慮
- スペース内にベビーカーなどを置ける場所を確保
- 他の既存スペースを一時的に提供

望ましい姿

- 母乳育児をする女性への配慮(母乳専用スペースのプライバシーの確保)。
- 安全上の観点から施設内の人目につく場所への設置
- 男性も利用可能な授乳スペース、家族で使える個室スペースなど整備など利用者の多様なニーズに対応した整備

望ましい姿

- 授乳・調乳スペースの位置情報及び設備情報の提供。
- 誤入室防止等表示の明確化(ピクトグラムや平易な説明等を工夫)
- IT機器(電子案内板等)による位置情報や設備情報の掲載。
- 地域や周辺施設と連携した授乳・調乳スペースマップの作成。
- 既存アプリ等の有効活用。

3. おむつ替えスペース

(1) おむつ替えスペースの設置

現状

- ・おむつ替えスペース不足やおむつ替えスペースの場所把握困難。
- ・おむつ替えと自分の用足しが一緒にできない。
- ・ベビーカーなどの置き場所や必要な設備の不足、清潔(感)の不足。

望ましい姿

- 施設の新設・改修時におむつ替えスペース設置を検討。
- 男性も利用しやすい色使いへの配慮。
- ベビーカーや荷物などの置き場所を確保。
- おむつ替え台の間隔等配置等の工夫。
- 衛生面への配慮から必要な設備(おむつ用ごみ箱など)の設置。

(2) 男女トイレでのおむつ替えスペースの確保

現状

- ・男性トイレのおむつ替えスペース不足。
- ・男女トイレへのベビーカーなどの置き場所不足や子どもを対象した設備が不十分。

望ましい姿

- 男性用トイレにおむつ替えスペースを設置。
- 他人の視線が気にならない、他の利用者の動線を邪魔しない構造。
- 子の年齢に応じた設備(フィッティングボード、子ども用トイレ等)の整備。
- 盗難防止策を講じたベビーカーや荷物置き場の確保。
- 個室便房内にベビーカーも入れるスペースを確保。

(3) おむつ替えスペースの情報発信

現状

- ・おむつ替えスペースの位置や設備情報など、利用者への情報提供不足。

望ましい姿

- おむつ替えスペースの位置情報や設備情報の提供。
- IT機器(電子案内板等)による位置情報や設備情報の掲載。
- 地域や周辺施設と連携したおむつ替えスペースマップの作成
- 既存アプリ等の有効活用。